

一般質問



立 鈴 員 議

一、メロン、ブドウなど農産物のブランド化を推進していますが、その選定の根拠及び指定後の恩典について伺いたい。

市内には有望な農産物が多く生産されている。イチゴ、ホオズキ、葉たばこやシキミなどは市場でも高く評価されている。御厨のシキミは非常に土壌が合っていて光沢がよく、鹿児島、宮崎、静岡の特産地より優れていると高い評価を受けている。市は、ブランド化に向けて、一層支

二、上志佐保育所は、17年度に45人の園児がいたが、あと二、三年で20割は校区外からの通園である。保育所運営の面からも早急に対策を講ずる必要がある。一時100人を超えていた上志佐小学校も、30年度には4学年が複式学級となる。田代、大崎、養源の小学校同様、統廃合を迎えることとなる。対策を講じて増員を図つて頂きたい。新婚者向け住宅を建設し、園児、児童の増加を図るべきと思うが、市長の考えを伺いたい。

答
卷

一、ブランド指定は、栽培面積や栽培戸数が多いこと、販売金額が大きいこと、市場や消費者の認知度が高いこと、そして他の産地との差別化ができることの4点を品目要件とし、総合的に勘案して選定しています。ブランドの維持、拡大に対しては、農家で対応できないことがあれば、それなりの支援をしていきたいと思つています。

まだブランド化に至っていないものの対しては、市場と消費者の信頼が得られるよう、生産面と販売面でどのような対策を講じたらよいのか、課題を抽出して生産者やJA等と協議を行い、その実践を通してブランド化確立の取り組みを進めたい。

二、少子化の流れは全市的なものもあり、市としても若い世帯の定住を基本に、有効な施策を打ち出さなければならぬと思っています。

農村部の空き家とか民間住宅業者を活用し、自然環境が生かせるそういう地域に、住宅対策を行っていく必要があると考えます。

市にとつても今後の大きな課題であると認識しております。

二、農産物ブランド強化対策事業について
上志佐小学校の統廃合回避と保育所の安定運営を図るために新婚

一、ブランド指定は、栽培面積や栽培戸数が多いこと、販売金額が大きいこと、市場や消費者の認知度が高いこと、そして他の産地との差別化

(1) 中国からの飛来が問題になつてゐる微粒子状物質PM_{2・5}は、本市の市民にも影響があると考えられます。本市としての対応について

一、(1)市としては、情報収集や監視体制を強化する観点から、測定機の設置を国や県に対して要望していくたい。

(2) 市内の子どもたちにマスク配布を検討する考えはありますか。また、環境省の指針では、大気中の濃度が高い日には、子どもや高齢者、疾患を持つた人は外出を控え、屋内の換

(2)今後の飛散状況や他の自治体の対応策を参考にしながら、状況に応じた対策を検討いたします。

一般質問

一、中国大気汚染（PM_{2.5}）松浦市の対策について

氣や窓の開閉を必要最小限にする上う喚起しています。屋内の汚染も考えられます。空気清浄機の購入に対して、補助する考えがないかお聴きします。

堆積土の除去に関しては、調川振興会からも要望されておりまますので、その趣旨を県に進達しております。今後も地域の意見を集約し、県のほうに要望してまいります。

(1) 調川川に関しては、町民有志による河川愛護団体によつて環境が守られておりますが、除草作業等を行つても限界があります。川に堆積土があり、ダンヂクが非常に多く茂り景観を悪くしている状態です。堆積土の除去を県にお願いして頂きた
い。

(2) 河川の環境整備に関しては、地元の多くの皆さま方の御尽力によりまして、すばらしい川として管理頂いております。このことについては、市としてもお札を申し上げますとともに、地元の皆さまの御努力に対しでは、それにお応えできるような姿勢で対応してまいります。

(2) 河川の管理という観点から、河川管理上の窓口となる市の立場として、今後の対応をお聴きしたい。